人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

創立指揮者 渡邊曉雄

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

SUBSCRIPTION CONCERTS

2022

6 JUN

第741回
東京定期演奏会

サントリーホール
2022年6月17日(金)19:00
6月18日(土)14:00

日本フィルハーモニー交響楽団

想像を、チカラに。

人が想像できることは、必ず人が実現できる。
鹿島の都市づくりは、100年先を見つめています。

100年をつくる会社
鹿島

CONTENTS
目 次

◆ プログラム 4
◆ 出演者プロフィール 6
◆ プログラム・ノート- 岩野 裕一 - 8
◆ 写真プレイバック- 2022年4月5月 - 11
◆ カーチュン・ウォン次期首席指揮者就任決定記者会見レポート 12
◆ 感動の共有　～ご支援のお願い～ 19
◆ 日本フィルハーモニー交響楽団　特別会員ご芳名 20
◆ パトロネージュご芳名 24
◆ 新入団員紹介 26
◆ 次回東京定期演奏会 28
◆ インフォメーション 30
◆ 公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団　名簿 31

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA 741st SUBSCRIPTION CONCERTS

日本フィルハーモニー交響楽団
第741回 東京定期演奏会

サントリーホール Suntory Hall

2022年6月17日(金)午後7時開演／18日(土)午後2時開演

7:00p.m. June 17th (Fri.) & 2:00p.m. 18th (Sat.), 2022

主　　催 ／ **公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団**

協　　賛 ／ **鹿島建設株式会社　三井不動産株式会社**

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術創造活動活性化事業）
独立行政法人 日本芸術文化振興会

公益財団法人 アフィニス文化財団

衣装提供 ／ 株式会社カインドウェア

表紙イラスト ／ 小澤 一雄

感染防止策にご協力をお願いいたします。

- ●スタッフは不織布マスクを正しく着用します。また、小声で対応させていただきます。
- ●入場時の手指消毒、手洗い、検温をお願いいたします。
- ●ホール内ではマスク（不織布など効果の確かなもの）を正しく着用し、周囲のお客様への配慮をお願いいたします。
- ●開演前はなるべくお席でお過ごしください。また時差退場のご協力をお願いいたします。
- ●会場ロビーでの食事はお控えください。（ホール内は飲食禁止です）
- ●ブラボー等の掛け声はお控えください。ホール内では大声での会話を避けるようご協力をお願いいたします。
- ●出演者へのプレゼント（お手紙・お花などを含む）、面会、楽屋入待ち、出待ち等はご遠慮ください。
- ●チケットご購入者と演奏会ご来場者のお名前が異なる場合は、ご来場者のご住所、お名前、電話番号を弊団までお知らせください。
- ●万が一感染者が発生した場合など、必要に応じて保健所等の公的機関へお客様のお名前と連絡先を提供する可能性がございます。
- ● 新型コロナウイルス接触アプリ（COCOA）等通知アプリの利用をお勧めいたします。

＊この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムを用意しております。ご要望の方は主催者までお申し出ください。

ドビュッシー：牧神の午後への前奏曲　約10分
Claude DEBUSSY: Prélude à "L'après-midi d'un faune"

ラヴェル：ピアノ協奏曲 ト長調　約23分
Maurice RAVEL: Concerto for Piano and Orchestra in G-major

コンサートマスター：田野倉 雅秋［日本フィル・コンサートマスター］
Concertmaster: TANOKURA Masaaki, JPO Concertmaster

休憩（15分）Intermission

フォーレ：組曲《ペレアスとメリザンド》op.80より　約18分
前奏曲、糸を紡ぐ女、シシリエンヌ、メリザンドの死
Gabriel FAURÉ: 'Prélude', 'Fileuse', 'Sicilienne', 'La Mort de Mélisande' from suite "Pelléas et Mélisande" op.80

ラヴェル：《ダフニスとクロエ》第2組曲　約18分
Maurice RAVEL: "Daphnis et Chloé" suite No.2

コンサートマスター：木野 雅之［日本フィル・ソロ・コンサートマスター］
Concertmaster: KINO Masayuki, JPO Solo Concertmaster

＊当初発表の内容から変更になりました。

指揮：秋山 和慶
Conductor: AKIYAMA Kazuyoshi

ピアノ：小川 典子
Piano: OGAWA Noriko

ソロ・チェロ：菊地 知也［日本フィル・ソロ・チェロ］
Solo Violoncello: KIKUCHI Tomoya, JPO Solo Violoncello

演奏中のマナーにご協力をお願いいたします。

■ 演奏会をお楽しみいただくために
演奏中はお手持ちの時計のアラーム、または携帯電話などの電源はお切りください。また手荷物、傘、チラシ類などの物音、話し声などで他のお客様のご迷惑にならないようご配慮をお願い申し上げます。尚、録音、録画、写真撮影は固くお断りしております。

■ 電源OFF

■ 声と拍手にご注意を

■ 周囲にご配慮を

■ 音にご注意を

■ 撮影禁止

Conductor 指揮

秋山 和慶

AKIYAMA Kazuyoshi

1941年生まれ。齋藤秀雄のもとで指揮法を修め、1963年に桐朋学園大学音楽学部を卒業。1964年2月に東京交響楽団を指揮してデビューののち同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。その間、トロント響副指揮者、アメリカ響音楽監督、バンクーバー響音楽監督(現在桂冠指揮者)、シラキュース響音楽監督、大阪フィル首席、札幌響首席、広島響首席、九州響首席などを歴任。サンフランシスコ響、クリーヴランド管、ロサンゼルス・フィル、フィラデルフィア管、ニューヨーク・フィル、ボストン響、シカゴ響、ロイヤル・フィル、NDR北ドイツ放送響、ケルン放送響、ベルリン放送響、スイス・ロマンド管、チューリッヒ・トーンハレ管などに客演している。

これまでに第6回サントリー音楽賞(1975年)、芸術選奨文部大臣賞(1995年)、大阪府民劇場賞(1989年)、大阪芸術賞(1991年)、第36回川崎市文化賞(2007年)、広島市民賞(2008年)をはじめ、東京響とともに毎日芸術賞(1994年)、第8回京都音楽賞大賞(1993年)、モービル音楽賞(1996年)、第29回サントリー音楽賞(1997年)を受賞。2001年11月に紫綬褒章、2011年6月には旭日小綬章を受章。2014年度文化功労者に選出。同年中国文化賞(広島)、徳島県表彰特別功労賞を受賞、2015年渡邉暁雄音楽基金特別賞を受賞。

2014年指揮者生活50年を迎え、2015年2月には回想録「ところで、きょう指揮したのは?」(共著/アルテスパブリッシング刊)を出版。

現在、中部フィルハーモニー交響楽団芸術監督・首席指揮者、日本センチュリー交響楽団ミュージックアドバイザー、岡山フィルハーモニック管弦楽団ミュージックアドバイザー、東京交響楽団桂冠指揮者、広島交響楽団終身名誉指揮者、九州交響楽団桂冠指揮者など多くの任を務めるほか、洗足学園音楽大学芸術監督・特別教授、京都市立芸術大学客員教授を務めている。

日本フィル東京定期演奏会登場は1972年4月以来、50年ぶりとなる。

©武藤 章

Piano ピアノ

小川 典子

OGAWA Noriko

リーズ国際ピアノコンクール入賞以来30年以上、英国と日本を拠点に世界の主要オーケストラ・指揮者との共演や、室内楽、リサイタル等で世界各国へ演奏旅行を行う他、国際的なコンクールでの審査、各国でのマスタークラスなど、国際的で多彩な活動を展開中。

BISより40枚近いCDを発売。2021年には世界初録音のR.ドゥヴニオン『クライスレリアーナ』、『サティ:ピアノ独奏曲全曲集Vol.4〝ルラーシュ・シネマ〞』等が次々と発売された。

2013、14年にはBBCプロムスへ連続出演。その後ポーランド放送響、モスクワ放送響、サンクトペテルブルグ響、BBC響など英国ツアーのソリストとして共演。またイギリス、フランス、ドイツ、ポーランド、韓国を始め数々の音楽祭にも招聘され、リサイタルやマスタークラスを行う。

リーズ国際、グリーグ国際、クリーブランド国際コンクール審査員。浜松国際ピアノアカデミー音楽監督。浜松国際ピアノコンクール審査委員長。国際音楽コンクール世界連盟役員。英国ギルドホール音楽院教授。東京音楽大学特任教授。ミューザ川崎シンフォニーホールアドバイザー。ジェイミーのコンサート主宰。NAS英国自閉症協会文化大使、イプスウィッチ管弦楽協会名誉パトロン。

文化庁芸術選奨文部大臣新人賞受賞、川崎市文化賞受賞。

2017年11月にはこれまでの貢献をたたえて英国ギルドホール音楽院より「フェロー」の称号が授与された。

著書『夢はピアノとともに』。訳書『静けさの中から』。

オフィシャルHP
http://www.norikoogawa.com/

プログラム・ノート 解説：岩野 裕一

御年81歳、名実ともにわが国を代表するマエストロとなった秋山和慶が、1972（昭和47）年4月以来、実に50年ぶりに日本フィルの東京定期演奏会の指揮台に立つ。

50年前の1972年といえば、日本フィルと新日本フィルがそれぞれの道を歩み始めたときにあたる。1963（昭和38）年、桐朋学園大学在学中に東京交響楽団（東響）の専属指揮者（のちに常任指揮者・音楽監督）に迎えられた秋山は、翌64年に自主運営となった東響の再建に楽団員とともに取り組む一方で、72年にはカナダのヴァンクーヴァー交響楽団の音楽監督に就任。その後、アメリカ響、シラキューズ響の音楽監督を歴任し、北米やヨーロッパでの活動も多忙をきわめるようになった。

東京での活動の中心が長らく東響だったため、その他の在京オーケストラに登場する機会は少なかったが、近年では各楽団に客演して、シャープで輝かしくありながら、暖かさを併せ持った響きを引き出し、楽団員・聴衆の双方から尊敬を集めている。

フランス音楽の粋を集めたプログラムでの久々の共演、大いに期待したい。（敬称略）

■ ドビュッシー：牧神の午後への前奏曲

19世紀後半、ナショナリズム（民族主義）の高まりとともにヨーロッパ諸国を席巻した「国民音楽」の運動は、バロック時代にリュリ、クープランなどを輩出しながら、その後は音楽文化の中心から離れていたフランスでも沸き起こった。1871年にプロイセン（ドイツ）との普仏戦争に敗北したことを契機に、フランス楽壇の中心的存在だったカミュ・サン＝サーンス（1835-1921）は、同志のセザール・フランク（1822-1890）、弟子のガブリエル・フォーレ（1845-1924）らとともに「国民音楽協会」を結成する。

フランス音楽の伝統を厳守しようとしたサン＝サーンスに対し、わずか９歳でパリのニーデルメイエール古典宗教音楽学校に入学したフォーレは、教会旋法や和声法を体得したことで、より自由な、私たちが「フランス的」と感じる高貴で清楚な作風を身に付け、あとに続くクロード・ドビュッシー（1862-1918）やモーリス・ラヴェル（1875-1937）の先駆者としての役割を果たした。

ドビュッシーが活躍した19世紀末のパリは、印象派の絵画や象徴主義の文学が全盛の時代であり、それらの世界観を音楽で表現しようと試み、絶え間なく揺れ動く光や影、空気や空間まで見事に描いたドビュッシーの音楽が、20世紀の作曲界に与えた衝撃はきわめて大きい。その象徴ともいうべき作品が、1894年に作曲された《牧神の午後への前奏曲》である。

詩人ステファン・マラルメの『牧神の午後』に触発されたドビュッシーが、「気だるい夏の昼下がり、好色な半獣神（牧神）がニンフ（妖精）との情事を夢想する」という詩からもたらされる雰囲気を音楽で表現したもので、フルートの独奏に始まる楽曲はきわめて巧みに設計し尽くされているが、聴き手は夢幻の世界に遊ぶばかりで、作曲技巧を一切感じさせないのはドビュッシーの天才ゆえであろう。

楽器編成：フルート3、オーボエ2、イングリッシュ・ホルン1、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、アンティーク・シンバル、ハープ2、弦楽5部。

■ フォーレ：管弦楽組曲《ペレアスとメリザンド》

『ペレアスとメリザンド』は、ベルギーの劇作家モーリス・メーテルリンクが1893年にパリで初演した戯曲で、同時代の作曲家に大きな影響を及ぼし、ドビュッシーがオペラ、シェーンベルクが交響詩、シベリウスが劇付随音楽（管弦楽組曲）を作曲している。物語は、老境に差し掛かった王子ゴローが、森の中で出会ったメリザンドを妻とするが、若き異父弟ペレアスとの仲を嫉妬して、密会中のペレアスを刺殺し、メリザンドも生まれたばかりの子供を残して死ぬという暗いものである。

イギリスの女優パトリック・キャンベルは、1898年にロンドンでの英語版初演に際してドビュッシーに作曲を依頼するが断られたため、フォーレに室内オーケストラ用の劇付随音楽を依頼する。このとき多忙だったフォーレはオーケストレーションを弟子のシャルル・ケクランに委ねるが、その後、「前奏曲」「糸を紡ぐ女」「メリザンドの死」の3曲からなる二管編成の管弦楽用組曲に書き改め、さらに「シシリエンヌ」「メリザンドの歌」（ソプラノ独唱付き、本日は演奏せず）を加えた現在の形となった。

第1曲　前奏曲　冒頭の弦楽による第1主題はメリザンドを表し、第2主題は運命を暗示する。終結部ではホルンが角笛の響きでゴローを象徴する。

第2曲　糸を紡ぐ女　第3幕でメリザンドが糸を紡ぐ場面の音楽。弱音器を付けた弦楽器の糸車の響きに乗せて、オーボエが切なく歌い上げる。

第3曲　シシリエンヌ　第2幕でペレアスとメリザンドが泉のほとりで戯れる場面の前奏曲として演奏されたが、本来は1893年に《町人貴族》（未完）のために作曲されたもの。ハープとフルートの優雅な響きが人気を博し、単独で演奏されることも多い。

第4曲　メリザンドの死　第5幕への前奏曲で、管楽器が葬送行進曲を奏でる。

楽器編成：フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、ティンパニ、ハープ、弦楽5部。

■ ラヴェル：《ダフニスとクロエ》第2組曲、ピアノ協奏曲 ト長調

19世紀末から20世紀初頭にかけての工業化社会を反映したかのようなメカニックな人工美と、人間的な温かさを併せ持った作風で一世を風靡したラヴェル。62年の生涯において、もっとも旺盛に作品を発表したのは、パリ音楽院に在学中だった20代後半から第一次世界大戦が勃発する30代の終わりまでだったが、この時期のパリで、舞踊・音楽・美術など、あらゆる芸術活動に多大な刺激を与えていたのが、天才的興行師セルゲイ・ディアギレフ率いるバレエ・リュス（ロシア・バレエ団）である。

《ダフニスとクロエ》は、ディアギレフの委嘱によって1909年から12年にかけて作曲されたもので、バレエ団の有名振付師フォーキンがギリシャの古代詩に題材をとった台本――羊飼いで、実は

貴族の青年ダフニスと美しい娘クロエが、パーンの神（牧神）の力で結ばれるという恋物語――に従って、精緻なオーケストレーションによる全3部、1時間からなる「巨大な音楽のフレスコ画」（ラヴェル自身の言葉）を書き上げた。

二つの演奏会用組曲はラヴェル自身の手になるもので、〈第2組曲〉は第3部のほとんどを抜粋したもの。静けさの中に聞こえる水のせせらぎから始まる**「夜明け」**、ダフニスとクロエが結ばれるさまを描いた**「無言劇」**、驚喜乱舞のクライマックスである**「全員の踊り」**の3つの部分から構成されている。

その後、第一次大戦の兵役による過労や、最愛の母を病気で失ったことで、ラヴェルの創作意欲は次第に衰え、さらに50代に入ると脳疾患から記憶障害を起こすようになる。だが、1928年には初めてアメリカを訪れてジャズやブルースに触れたことで、革新性と独自性を増したラヴェルの音楽は最後の輝きを放っていく。

アメリカでの大歓迎に気を良くしたラヴェルは、すぐさま2度目のアメリカ訪問を含む世界演奏旅行を計画し、その際には自分でピアノ独奏を受け持つ心づもりで、若き日の未完作だった「バスク協奏曲」を改作した**「ピアノ協奏曲」**の作曲に着手する。この作品の色彩感に溢れた光きらめくような響きは、ラヴェルや母親の生地だったバスクの風光を感じさせる。また、ラヴェル自身、「この協奏曲はモーツァルトとサン＝サーンスの精神に則って作曲しました」と述べているように、ジャズ風のリズムを大胆に取り入れながらも決して退廃的にはならず、ユーモラスな快活さに満ちている。

1929年に作曲を開始し、32年1月、名手マルグリット・ロンの独奏で初演された。

第1楽章　アレグラメンテ　ト長調　2分の2拍子　ソナタ形式

鞭を打ち付ける音で始まるのは非常に独創的。ピッコロやトランペットがお祭りのような第1主題を高らかに提示し、オーケストラ全体で盛り上がったのち、ピアノが静かに第2主題を奏でる。再現部でのハープによるカデンツァも斬新だ。

第2楽章　アダージョ・アッサイ　ホ長調　4分の3拍子　三部形式

ピアノが独奏で息の長い主題をしみじみと歌い上げ、コールアングレが表情豊かに呼応する。モーツァルトへの憧れが結晶となったような音楽であり、神々しさすら感じられる。

第3楽章　プレスト　ト長調　4分の2拍子　序奏ートッカータ風の主部

サーカスの開幕を告げるような金管と小太鼓の強奏に始まり、Esクラリネットやトロンボーンが熱狂的な叫び声を上げる中を、ピアノが縦横無尽に駆け回る。再び鞭の一撃が響くと金管が行進曲風に歩み始め、熱狂的な大団円となる。

【ピアノ協奏曲 楽器編成】独奏ピアノ、ピッコロ1、フルート1、オーボエ1、イングリッシュ・ホルン1、E♭管クラリネット1、クラリネット1、ファゴット2、ホルン2、トランペット1、トロンボーン1、ティンパニ、大太鼓、小太鼓、シンバル、トライアングル、銅鑼、ウッドブロック、ムチ、ハープ、弦楽5部。

【《ダフニスとクロエ》第2組曲 楽器編成】ピッコロ1、フルート2（ピッコロ持替1）、アルト・フルート1、オーボエ2、イングリッシュ・ホルン1、E♭管クラリネット1、クラリネット2、バス・クラリネット1、ファゴット3、コントラファゴット1、ホルン4、トランペット4、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、テューバ1、ティンパニ、大太鼓、小太鼓、シンバル、トライアングル、タンブリン、カスタネット、鍵盤式グロッケンシュピール、ハープ2、チェレスタ1、弦楽5部。

Playback プレイバック

4月5月の公演を振り返ります

PHOTO 1　4月17日は芸劇シリーズ。インキネンとのベートーヴェン・ツィクルスの再開です！爽やかだけれど肉厚なベートーヴェン。古楽とは異なる、モダンオーケストラならではの豊饒な響きをお楽しみいただきました。*

PHOTO 2　4月18日は杉並区役所でロビーコンサート。ウクライナから杉並区に避難されたチェロ奏者の母娘も出演。「ふるさと」を日本フィルの弦楽四重奏と6人で演奏した後に、「爆弾の音ではなく、鳥の声をききたい」と。満席の会場が平和への祈りの気持ちで満ちました。

PHOTO 3　4月23日横浜定期、インキネンもお気に入りのミューザ川崎シンフォニーホールで澄み切ったシベリウスとベートーヴェンをお楽しみいただきました。次のツィクルスは10月東京定期演奏会。終演後の4ショット！*

PHOTO 4　5月5日は小学生からのクラシック・コンサート。3年ぶりの京都で、ご家族にお届けすることができました。海老原マエストロとモーツァルトこと江原陽子さんです！

PHOTO 5　5月14日横浜定期演奏会＆15日杉並公会堂シリーズに、カーチュン・ウォンが初登場！シベリウスのヴァイオリン協奏曲、ドヴォルジャーク：交響曲第7番 他をお届けしました。ソリストの南紫音さんと一緒にぱちり。*

PHOTO 6　5月18日、カーチュン・ウォン次期首席指揮者就任決定記者会見を行いました。レポートはP12-14をご覧ください！

*印のアーカイブ配信はMember's TVU CHANNELで。
https://members.tvuch.com

カーチュン・ウォン
次期首席指揮者就任決定記者会見レポート

左より平井俊邦（理事長）、カーチュン・ウォン、益滿行裕（事務次長・企画制作部部長）

2022年5月18日（水）、丸ビルホール＆コンファレンススクエアにて、日本フィルの次期首席指揮者の記者会見を行いました。多くの音楽・報道関係者の皆様にお集まりいただきましたこと、この場をお借りして御礼申し上げます。以下に記者発表会の内容をご報告いたします。

日本フィルハーモニー交響楽団は、2023年9月よりカーチュン・ウォン（現・首席客演指揮者）を首席指揮者に迎えます。任期は5年を予定しております。

年3回のサントリーホールでの東京定期演奏会をはじめとして年間12公演程度を予定しています。九州公演はもとより日本の各地へ音楽を届けていきたいと思っております。そして日本フィルが足を運んでいないアジア諸国への楽旅も目指していければと考えています。オーケストラ公演にとどまらず、日本フィルの大きな特徴でもある社会貢献、教育活動と地域活動、東北地方でおこなっている「被災地へ音楽を」の活動にも積極的に関与していただきたいと考えています。現首席指揮者ピエタリ・インキネンの2023年8月任期終了に伴い、日本フィルは新しい才能との出会いを待ち望んでおりましたが、そのようなタイミングでカーチュン・ウォンという素晴らしいマエストロと出会えたことを非常に嬉しく思っております。芸術性と社会性の双方におけるリーダーシップを期待しております。

モダニストでありながら古き良き伝統を受け継ぐ次期首席指揮者カーチュン・ウォンと日本フィルの今後に、どうぞご期待ください。

◆ 次期首席指揮者就任決定にあたり（カーチュン・ウォン）◆

日本フィルの音について

日本フィルは、非常に素晴らしい独自の音を持っています。この音をさらに高められると信じています。今日世界には素晴らしいオーケストラが沢山ありますが、どうしても似たような音になる傾向があります。私は日本フィルの独自の音を守り、かつそれを成長させていきたいと思っています。自分たちの独自の音を生み出せる、そのポテンシャルを感じています。日本フィルとの5年間で何か音作りというのを確立できれば、非常に嬉しいです。

日本フィルの伝統と革新

日本のパラドクスというものにも注目しています。皆さんは必死に伝統を守ろうとしていますが、その中に現代性をどんどん取り入れていくという局面もありますよね。これは音楽だけではなくて、食べ物や文化の面など様々な面で見られると思います。日本フィルはポテンシャルが高いと申しましたが、今までのクラシックの伝統、今までの演奏を守りつつも同時に、新しいもの、技術も含めてレコーディングや、新しいソーシャルメディア、そして我々の音楽というものをどんな形で配信し残していくか、そういう革新的な意味でのポテンシャルもあるのではないかなと思っています。

日本フィルの社会からの要請に対しての取り組みについて

日本フィルは社会的な意味を持つ組織であり、これは私が非常に惹かれている側面でもあります。昨年の夏に、私は日本フィルの様々なプロジェクトを拝見しました。子供のためのプロジェクト（夏休みコンサート）もありましたし、五感を使った新しい聴衆を開拓するためのプロジェクト（落合陽一×日本フィルプロジェクト）もありました。もちろん日本フィルは東北にもいきますし、他の地域にも教育プログラムを展開しており、そうい

理事長よりジュニア誕生のお祝い

うところにも私はとても惹かれます。
　もちろんコンサートホールでの演奏会は特別なものです。しかし、私たちは芸術家として世の中のあらゆる人々に美しいものを生み出して提供しなければいけません。人々というのは、子供もいますし高齢者の方々もいます。すべての方たちに美しい音楽を経験してもらえるような仕掛けというものを考えていきたいです。
　まだまだ始めたばかりの長い旅路です。今後もオーケストラのことをよりよく知って、何ができるかを考えていきたいと思っています。皆様とはコンサートホールでお目にかかれることを楽しみにしています。

記者会見完全レポートはホームページをご覧ください。
https://japanphil.or.jp/orchestra/news/25085

◆ 首席指揮者就任決定に向けて、マリーナ・マーラー様よりメッセージが届きました ◆

https://youtu.be/eoMkgJcCUuo
◀動画はこちらから

親愛なるカーチュンへ
あなたが成し遂げてきた事すべて誇りに思っています。
初めて会ったとき、あなたがバンベルクのマーラー指揮者コンクールで第1位になったときからずっと。
そして今、それから数年であなたは日本フィルの首席指揮者になろうとしています。
これは私にとって感動的なことです。
あなたの友達としてだけでなくあなたがこれから益々成長して素晴らしいキャリアを歩み
素晴らしいマーラー指揮者になることを間違いなく確信しています。
それに日本はマーラーの音楽にとって重要な国です。
これからずっと素晴らしいプロジェクトを手掛けられることでしょう。
いつも見守っています。
一緒にできることもあるかもしれませんね。待ち遠しいです。
皆さんに愛を込めて

マーラーの孫娘、マリーナ・マーラーさんからのお祝いメッセージ

©Angie Kremer

今後のカーチュン・ウォン×日本フィル

第399回名曲コンサート
2023年1月15日（日）14:00
サントリーホール
ギター：村治 佳織
ロドリーゴ：アランフェス協奏曲
ベートーヴェン：交響曲第3番《英雄》
2022年10月6日（木）発売
SS¥8,000 S¥7,000 A¥5,500 B¥5,000
C¥4,500 P¥4,000 Gs¥4,000 Ys¥1,500

第747回東京定期演奏会
2023年1月20日（日）19:00、21日（土）14:00
サントリーホール
伊福部昭：シンフォニア・タプカーラ
バルトーク：管弦楽のための協奏曲
2022年6月23日(木)発売
S¥8,000 A¥6,500 B¥6,000
C¥5,000 P¥4,000 Ys¥1,500

2022／2023シーズン年間ラインアップ
ホワイエで配布中！

第384回横浜定期演奏会
2023年1月28日（土）17:00
横浜みなとみらいホール
2022年6月23日(木)発売
S¥8,000 A¥6,500 B¥6,000
C¥5,000 P¥4,000 Ys¥1,500

第244回芸劇シリーズ
2023年1月29日（日）14:00
東京芸術劇場
ピアノ：小菅 優
ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第3番
ラフマニノフ：交響曲第2番
2022年10月6日（木）発売
S¥7,000 A¥5,500 B¥5,000
C¥4,000 Gs¥4,000 Ys¥1,500

第750回東京定期演奏会
2023年5月12日（金）19:00、13日（土）14:00
サントリーホール
チェロ：佐藤 晴真
ミャスコフスキー：交響曲第21番《交響幻想曲》
芥川也寸志：チェロとオーケストラのためのコンチェルト・オスティナート
ヤナーチェク：シンフォニエッタ
2022年12月20日(火)発売
S¥8,000 A¥6,500 B¥6,000
C¥5,000 Gs¥4,000 Ys¥1,500

あれもこれも、で
いい街にしよう。

たとえば、伝統と革新。都市と自然。
経済と文化。住む人と働く人。
あれかこれか、ではなく、あれもこれも。
私たち三井不動産は、
異なる概念やさまざまな人を結びつけて、
イノベーションや挑戦、
驚きや希望や愛といった、
新しい価値を次々と街に生み出していきたい。
そして街に集う人たちと一緒に、
その先の日常をつくっていきたい。
街は人とともに。
三井不動産の「&」の街づくりは続きます。

三井不動産
MITSUI FUDOSAN

最高級のアコースティックを誇る
杉並公会堂
Suginami Koukaidou

日本フィルは杉並公会堂を活動拠点とし、
様々な活動を通じて音楽文化を発信しています。

日本フィル杉並公会堂
シリーズ公演より

春休みオーケストラ探検より
楽器体験

公開リハーサル

〒167-0043 東京都杉並区上荻1-23-15
Tel: 03-3220-0401
http://www.suginamikoukaidou.com/
※運営会社：(株) 京王設備サービス

日本フィルを支えてくださる皆様に、
心より御礼申し上げます。

コロナ禍による演奏中止、入場者数制限等は、大きなスポンサーをもたず演奏収入を主たる収入源としている日本フィルにとって、財政面で大きな打撃となり、一時は楽団存続の危機に直面しました。その際、全国の多くの方々からの温かいご支援、国・自治体・民間団体・企業等からの助成をいただいたおかげで、皆様に演奏をお届けできておりますことに、感謝の気持ちでいっぱいでございます。本当にありがとうございました。

さまざまな制限がありましたが、日本フィルの活動の三本柱「オーケストラ・コンサート」、次世代を担う子供達を育てる「エデュケーション・プログラム」、地域発展に貢献する「リージョナル・アクティビィティ」を中心に最善の活動をしてまいりました。2011年4月より継続している東日本大震災被災地に音楽を届ける活動「被災地に音楽を」もリモート等を活用しながら中断することなく行い、その回数は300を超えました。

コロナ禍での様々な困難を通して、生の音楽の感動の素晴らしさ、それを多くの方と共有する大切さ、人の心を揺り動かす音楽の力を改めて強く実感しました。と同時にオーケストラに対する社会からの要請がますます強くなっていると認識しています。芸術性と社会性を兼ね備えたトップ楽団である日本フィルは、これにしっかりと応えていかなくてはなりません。あらゆる人々へ、あらゆる世代へ、あらゆる地域へ、「今、何をすべきかオーケストラ」の問いかけのもと、“未来を担う子供たちのため”、“豊かな社会の実現のため”、新しく出現する社会をしっかりと見据え真摯に取り組んでいくこと、それが日本フィルの使命であり、皆様からのご支援、ご期待に応えることではないかと思っております。

今後とも皆様のご理解、ご支援を賜れれば幸いでございます。

日本フィルハーモニー交響楽団
理事長　平井 俊邦

■お振込みでのご寄付

①お名前 ②ご住所 ③TEL ④お振込額　を
メール donation@japanphil.or.jp まで
お知らせください。

【お振込先口座】
三菱UFJ銀行　高円寺支店（支店コード：155）
普通預金　0242402
公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団
※振込手数料はご負担くださいますようお願い申し上げます。

■オンライン寄付

日本フィルの公式ホームページから
クレジットカードによりご寄付いただけます。
右のQRコードから
ご寄付のサイトを
ご覧いただけます。

ご寄付をいただきました方には、
後日寄付金受領書等をお送りいたします。

感動の共有
日本フィルハーモニー交響楽団

文化の発信

日本フィルは、
質の高い音楽をお届けする《オーケストラ・コンサート》
音楽との出会いを広げる《エデュケーション・プログラム》
そして音楽の力で様々なコミュニティを活性化させる
《リージョナル・アクティビティ》という
三つの柱で活動を行い、
音楽を通して文化を発信しています。

今月から下記の方々よりご支援をいただくことになりました。（敬称略）

パトロネージュ　匿名1名

存続の危機にある日本フィルへのご寄付

税額控除または所得控除の対象となります。詳しくは左のページをご覧ください。

パトロネージュ［個人寄付会員］

プログラム誌へのご芳名掲載や様々な特典があります。税額控除または所得控除の対象となります。
年会費：3万円／5万円／12万円／20万円／50万円／100万円

日本フィル・サポーターズクラブ

音楽に関心を持つ皆様に日本フィルの活動をご支援いただくシステムです。ご招待券2枚プレゼント、
主催公演チケット優先受付・優待（1割引）など様々な特典があります。
年会費：1万円

特別会員［法人寄付］

定期演奏会のご案内、プログラム誌へのご芳名の掲載などの特典があります。寄付金額を損金に算入することができます。

遺贈

遺言により財産をご寄付頂く方法です。税制上の優遇措置の対象となります。お申込みの方法など、提携銀行のご紹介など、詳しくは事務所までご相談ください。

お問い合わせ：日本フィル事務所 TEL03-5378-6311（10-18時、土日祝日休）

日本フィルハーモニー交響楽団 特別会員ご芳名

株式会社IDホールディングス
代表取締役社長 舩越　真樹
株式会社アイレ　代表取締役社長 荒江　健
アイング株式会社　代表取締役会長 飯嶋　庸夫
赤坂維新號　代表取締役社長 鄭　東静
あすか製薬株式会社　代表取締役社長 山口　惣大
株式会社アトックス　代表取締役 矢口　敏和
株式会社アドービジネスコンサルタント
代表取締役社長 池田　昭司
株式会社アール&キャリア
代表取締役社長 飯嶋　一晃
イーソリューションズ株式会社
代表取締役社長 佐々木経世
株式会社泉商会　代表取締役社長 八方　淑夫
株式会社泉放送制作　代表取締役社長 日下部恵一
磯野不動産株式会社　代表取締役社長 磯野　計一
稲畑産業株式会社　相談役 稲畑　勝雄
株式会社インフォマート　代表取締役社長 長尾　收
株式会社内田洋行　代表取締役社長 大久保　昇
内野株式会社　代表取締役社長 内野　信行
宇部エクシモ株式会社　代表取締役社長 古賀　源二
株式会社ＡＩＴ　代表取締役社長 大熊　克美
株式会社エイブル＆パートナーズ
代表取締役会長兼社長 佐藤　茂
株式会社エヌエフホールディングス
代表取締役会長 高橋　常夫
NGB株式会社　代表取締役社長 宮﨑　潔
エヌビーエス株式会社　代表取締役会長 飯嶋　一晃
株式会社エルイーテック　代表取締役社長 坂田　洋一
エレコム株式会社　代表取締役会長 葉田　順治
大隅ミート産業株式会社　代表取締役社長 小森　浩一
株式会社大場造園　代表取締役社長 大場　二郎
株式会社岡三証券グループ　取締役会長 加藤　哲夫

小川香料株式会社　代表取締役社長 小川　裕
公益財団法人オリックス宮内財団
代表理事 宮内　義彦
花王株式会社　代表取締役　社長執行役員 長谷部佳宏
株式会社カカクコム　代表取締役社長 畑　彰之介
鹿島建設株式会社　代表取締役会長 押味　至一
鹿島建物総合管理株式会社
代表取締役社長 山本　和雄
鹿島道路株式会社　代表取締役社長 吉弘　英光
かどや製油株式会社　代表取締役会長 小澤　二郎
株式会社カナック企画　代表取締役 金子高一郎
株式会社ガモウ　代表取締役 蒲生　茂
社会医療法人河北医療財団　理事長 河北　博文
川北電気工業株式会社　取締役社長 大津　正己
北野建設株式会社　代表取締役社長 北野　貴裕
キッコーマン株式会社
取締役名誉会長取締役会議長 茂木友三郎
キヤノン株式会社
代表取締役会長 兼 社長 CEO 御手洗冨士夫
キユーピー株式会社
代表取締役 社長執行役員 長南　収
協和キリン株式会社　代表取締役社長 宮本　昌志
株式会社協和日成　代表取締役社長 川野　茂
キリンホールディングス株式会社
代表取締役社長 磯崎　功典
株式会社きんでん　代表取締役社長 上坂　隆勇
株式会社九曜社　代表取締役社長 望月　耕次
グリーン・サポート・システムズ株式会社
代表取締役 笛木　彰
グローブシップ株式会社 代表取締役社長 矢口　敏和
株式会社京王設備サービス　取締役社長 浅野　義行
京王電鉄株式会社　代表取締役社長 紅村　康
京浜急行電鉄株式会社　取締役社長 川俣　幸宏

株式会社小泉　代表取締役社長 長坂　剛
株式会社興建社　代表取締役社長 水島　隆明
コーザイ株式会社　代表取締役 貝沼　信和
株式会社講談社　代表取締役社長 野間　省伸
株式会社コバヤシ　代表取締役 小林　達夫
コンパッソ税理士法人　代表社員 内川　清雄
株式会社コトブキ　代表取締役社長 深澤　幸郎
株式会社コンサートサービス　代表取締役 佐藤　修悦
佐藤製薬株式会社　代表取締役社長 佐藤　誠一
三機工業株式会社　特別顧問 梶浦　卓一
山九株式会社　代表取締役社長 中村　公大
サントリーホールディングス株式会社
代表取締役社長 新浪　剛史
三洋貿易株式会社　代表取締役社長 新谷　正伸
ジーエルサイエンス株式会社　取締役社長 長見　善博
ジェネロ株式会社　代表取締役 竹内　大志
株式会社慈恵実業　代表取締役社長 石塚　雄三
澁谷工業株式会社　取締役社長 澁谷　英利
株式会社じほう　代表取締役会長 武田正一郎
清水建設株式会社　代表取締役社長 井上　和幸
株式会社集英社　代表取締役社長 廣野　眞一
松竹株式会社　代表取締役社長 迫本　淳一
昭和電工ガスプロダクツ株式会社
代表取締役社長 平倉　一夫
昭和電工株式会社　代表取締役会長 森川　宏平
ショーボンドホールディングス株式会社
代表取締役社長 岸本　達也
新菱冷熱工業株式会社　代表取締役社長 加賀美　猛
株式会社ジャックス 代表取締役社長COO 山﨑　徹
株式会社ジンテック　代表取締役 柳　秀樹
株式会社杉江商店　代表取締役 杉江　寛
杉山商事株式会社　取締役社長 杉山　健

住友ベークライト株式会社 代表取締役社長 藤原　一彦
株式会社スプリックス　代表取締役社長 常石　博之
株式会社西武ホールディングス
代表取締役社長 後藤　高志
全国保証株式会社　代表取締役社長 石川　英治
第一倉庫株式会社　会長 小泉　駿一
株式会社泰秀　代表取締役社長 野口　通子
大正製薬株式会社　取締役会長 上原　明
大成建設株式会社　代表取締役社 相川　善郎
大成ロテック株式会社　代表取締役社長 西田　義則
大同生命保険株式会社　代表取締役社長 北原　睦朗
大日本除虫菊株式会社　代表取締役社長 上山　直英
大日本塗料株式会社　代表取締役社長 里　隆幸
大和製罐株式会社　代表取締役社長 山口　裕久
高砂熱学工業株式会社
代表取締役社長COO 社長執行役員 小島　和人
千歳コーポレーション株式会社
取締役社長 森岡　寛司
千代田化工建設株式会社
代表取締役会長 兼 社長 榊田　雅和
株式会社千代田テクノル　代表取締役会長 細田　敏和
塚本總業株式会社　代表取締役社長 塚本　素清
ディアンドデパートメント株式会社
代表取締役社長 松添みつこ
株式会社ティーガイア　代表取締役社長 金治　伸隆
学校法人帝京大学　理事長 冲永　佳史
THK株式会社　代表取締役社長 寺町　彰博
ＴＩＳ株式会社　代表取締役社長 岡本　安史
株式会社電通　代表取締役 社長執行役員 榑谷　典洋
東亜建設工業株式会社　代表取締役社長 秋山　優樹
株式会社東急コミュニティー　取締役社長 木村　昌平
東京海上日動火災保険株式会社
取締役社長 広瀬　伸一

株式会社東京交通会館　代表取締役社長　興野　敦郎
東京都杉並区　区長　田中　良
東京美装興業株式会社　代表取締役社長　八木　秀記
東洋熱工業株式会社　代表取締役社長　谷口　昌伸
戸田建設株式会社　代表取締役会長　今井　雅則
トヨタ自動車株式会社　代表取締役社長　豊田　章男
株式会社永田音響設計　代表取締役社長　小口　恵司
株式会社永谷園ホールディングス　代表取締役会長　永谷栄一郎
株式会社ナミキ　代表取締役会長兼社長　並木　洋一
日総工産株式会社　代表取締役社長執行役員 兼 CEO　清水　竜一
日鉄興和不動産株式会社　代表取締役社長　今泉　泰彦
株式会社ニフコ　代表取締役会長　山本　利行
日本精工株式会社　取締役会長　内山　俊弘
日本製鉄株式会社　代表取締役社長　橋本　英二
日本電子株式会社　代表取締役会長 兼 CEO　栗原権右衛門
日本パーカライジング株式会社
株式会社日本マイクロニクス　代表取締役社長　長谷川正義
株式会社ネイチャーズウェイ　代表取締役社長　萩原　吉晃
根本特殊化学株式会社　代表取締役社長　根本美恵子
野村ホールディングス株式会社　代表執行役社長 グループCEO　奥田健太郎
パイオニア株式会社　代表取締役兼社長執行役員　矢原　史朗
ハウス食品グループ本社株式会社　代表取締役社長　浦上　博史
株式会社博報堂　代表取締役社長　水島　正幸
ハナマルキ株式会社　代表取締役社長　花岡　俊夫
パンパシフィック・カッパー株式会社　代表取締役社長　堀　一浩

阪和興業株式会社　代表取締役社長　古川　弘成
東日本住宅株式会社　代表取締役　桃野　直樹
非破壊検査株式会社　代表取締役社長　山口多賀幸
ひびき・パース・アドバイザーズ　代表取締役社長　清水　雄也
富国生命保険相互会社　代表取締役社長　米山　好映
富士急行株式会社　代表取締役社長　堀内光一郎
富士テレコム株式会社　代表取締役社長　西田　孝一
一般財団法人 藤本育英財団　理事長　藤本由紀子
古河産業株式会社　代表取締役社長　横田　敦彦
合同会社ベルファーマシー　代表社員　前島　景子
株式会社ポーラ・オルビスホールディングス
ホッカンホールディングス株式会社　代表取締役社長　池田　孝資
株式会社ポニーキャニオン　代表取締役社長　吉村　隆
本田技研工業株式会社　代表取締役社長　三部　敏宏
株式会社牧野フライス製作所　代表取締役社長　井上　真一
マネックスグループ株式会社　代表執行役　松本　大
株式会社丸井グループ　代表取締役社長　青井　浩
株式会社丸の内よろず　取締役社長　中村　正博
丸美屋食品工業株式会社　代表取締役社長　阿部豊太郎
三井情報株式会社　代表取締役社長執行役員　浅野　謙吾
株式会社三井住友銀行　頭取CEO　髙島　誠
三井製糖株式会社　代表取締役社長　森本　卓
三井石油開発株式会社
三井倉庫ホールディングス株式会社　代表取締役社長　古賀　博文
三井物産株式会社　代表取締役社長　堀　健一
三井不動産株式会社　代表取締役社長　菰田　正信

株式会社三越伊勢丹アイムファシリティーズ　代表取締役会長　飯嶋　庸夫
株式会社三越伊勢丹ホールディングス　特別顧問　石塚　邦雄
三菱HCキャピタル株式会社　代表取締役 社長執行役員　柳井　隆博
三菱オートリース株式会社　代表取締役社長　中野　智
三菱ガス化学株式会社　代表取締役社長　藤井　政志
三菱地所株式会社　執行役社長　吉田　淳一
三菱自動車工業株式会社　取締役代表執行役CEO　加藤　隆雄
三菱重工業株式会社　取締役社長　泉澤　清次
三菱倉庫株式会社　相談役　宮崎　毅
株式会社三菱ＵＦＪ銀行　頭取　半沢　淳一
三菱ＵＦＪ証券ホールディングス株式会社　取締役社長　荒木　三郎
武蔵商事株式会社　代表取締役　宇田川紀通
明治安田生命保険相互会社　取締役代表執行役社長　永島　英器
株式会社明和住販流通センター　代表取締役　塩見　紀昭
メッドサポートシステムズ株式会社　代表取締役社長　大徳　眞一
株式会社メディアグラフィックス　代表取締役社長　水野　憲一
株式会社メルコホールディングス　代表取締役社長　牧　寛之
森社会保険労務士事務所　所長　森　康之
株式会社ヤクルト本社　相談役名誉会長　堀　澄也
山崎製パン株式会社
ヤマトホールディングス株式会社　取締役　神田　晴夫
UBE株式会社　取締役会長　山本　謙

ユウキフーヅシステム株式会社　取締役相談役　田中　晃
横河電機株式会社
米持建設株式会社　代表取締役　米持　大介
株式会社リガク　取締役会長　志村　晶
株式会社リョーサン　代表取締役社長執行役員　稲葉　和彦
株式会社Rings　代表取締役　矢部　和広
株式会社リンレイ　代表取締役社長　鈴木　信也
株式会社ＬＡＢＣＯ　代表取締役　高津　昌広
株式会社ＬＥＯＣ　代表取締役会長兼社長　小野寺裕司
ローム株式会社　代表取締役社長 社長執行役員　松本　功

匿名5名

（2022年6月1日現在・50音順・敬称略）

パトロネージュご芳名

会田　雅美　東京都
浅野　純次　埼玉県
朝吹　英和　東京都
厚田　理郎　東京都
阿部　俊彰　神奈川県
荒井　昇　東京都
荒木　秀隆　東京都
荒蒔康一郎　東京都
有江　純子　神奈川県
有手　千麻　埼玉県
飯田　桂子　東京都
飯田　惠司　東京都
飯田　憲　東京都
家近　茂　東京都
家近　信子　東京都
五十嵐重雄　東京都
池浦　慧　東京都
池田　博　東京都
池野　隆光　東京都
池谷　光司　東京都
伊佐山建志　東京都
石井　榮　東京都
石澤　卓志　千葉県
石塚　邦雄　東京都
石橋　秀雄　神奈川県
石橋　雄三　神奈川県
伊藤　貴博　東京都
伊東　宏恭　神奈川県
伊藤　昌司　東京都
稲葉　治樹　茨城県
稲葉　好正　東京都
犬塚　静衛　東京都
井上　俊信　埼玉県
井上　直人　東京都
井上　浩良　東京都
岩瀬　順子　神奈川県
岩田　達明　静岡県
上野悦子・陽子　東京都
宇賀神裕子　神奈川県
臼井　潤　東京都
内村　恒彦　神奈川県
江口　和廣　東京都
江口　麗子　東京都
遠藤　滋　神奈川県
大石　直輝　山梨県
大熊美結紀　東京都
大倉　祐子　東京都
大島　剛　埼玉県
大竹　広明　神奈川県

太田　五郎　神奈川県
太田　達男　千葉県
大塚　宣夫　東京都
大藤　裕康　埼玉県
大森　京太　東京都
岡本　晋　東京都
岡田　尚子　埼玉県
岡田　雅史　神奈川県
奥林　群司　東京都
奥山　敦子　東京都
尾澤　弘久　神奈川県
尾上　洋子　東京都
小野寺けい子　岩手県
小野寺健一　岩手県
小幡　尚孝　東京都
小原　道生　東京都
折田　正樹　東京都
風間　沙織　神奈川県
賀澤　裕三　福島県
鹿島　英裕　東京都
片貝　英重　東京都
片柳　彰　東京都
片山　英二　東京都
桂　史子　東京都
加藤　壹康　静岡県
加藤　丈夫　東京都
加藤ひろみ　東京都
加藤　洋一　東京都
加藤　頼宣　東京都
金子　修　埼玉県
金子　肇　千葉県
上條　貞夫　東京都
上條　淑子　東京都
川合　孝一　千葉県
川瀬　範子　東京都
川畑　雅義　東京都
河田　義宏　東京都
菊池　和美　東京都
喜多𠮷久江　東京都
北村　篤嗣　埼玉県
北村　裕　神奈川県
木藤　正義　埼玉県
木村　惠司　神奈川県
草刈　隆郎　東京都
久野　哲男　千葉県
熊谷　朝子　東京都
倉谷　宏樹　東京都
栗原真知子　埼玉県
黒田　真一　東京都

畔柳　信雄　東京都
甲賀　一宏　埼玉県
好士﨑稔子　東京都
胡口　靖夫　東京都
児玉　敏宏　東京都
児玉　玲子　東京都
小林こずえ　東京都
小林　裕美　東京都
小林　容子　東京都
駒見　俊彦　東京都
五味　康昌　神奈川県
酒井　重人　東京都
酒井　和夫　神奈川県
酒井　伸　長野県
酒巻　英俊　東京都
定形　哲　神奈川県
佐藤　武男　東京都
佐藤　寛之　東京都
佐藤　正昭　東京都
座間　淑美　神奈川県
澤田　初恵　東京都
柴田　栄一　東京都
島田　精一　東京都
島田　敏生　神奈川県
島田　晴雄　東京都
清水　久子　東京都
清水　幸雄　千葉県
下河辺美知子　東京都
下條　英敏　神奈川県
下田　英一　東京都
生島　貴司　千葉県
新庄真帆子　大阪府
晋友会合唱団　東京都
菅　千太郎　東京都
杉山　秀子　東京都
杉山　浩明　東京都
鈴木　昌子　神奈川県
鈴木　庸夫　東京都
鈴木　祐二　東京都
住野　公一　東京都
関　兼英　東京都
妹尾　絲子　東京都
仙石　通泰　東京都
宗　神子　大分県
染野　郁郎　東京都
髙井　延幸　神奈川県
髙木　宏忠　東京都
髙須　幸雄　東京都
髙田　信子　東京都

髙橋　信喜　東京都
武岡　哲郎　東京都
竹下　道夫　東京都
竹中富知男　東京都
龍川　優　東京都
立山　裕子　熊本県
田中稀一郎　東京都
田中　宏征　兵庫県
田仲　博幸　東京都
田中　將介　神奈川県
田辺三基男　東京都
谷　聖美　神奈川県
田村　一　山梨県
田村　浩章　東京都
塚本　和久　東京都
塚本　美幸　東京都
辻　雅夫　東京都
蔦井　厚伸　東京都
津田　義久　東京都
常石　博之　東京都
角田　峻一　東京都
坪井　和音　東京都
積田　孝一　東京都
d日本フィルの会
寺澤　佳代　東京都
東京フロイデ合唱団　東京都
時枝　直満　東京都
徳田　俊一　東京都
徳田　陽一　東京都
外山　雄三　東京都
中尾　誠利　神奈川県
ナガオカケンメイ　東京都
中島　奈穂　東京都
中島美知子　東京都
長瀬　雅則　東京都
中園　和博　東京都
仲田　喜義　東京都
中西　泉　東京都
永野　明宏　千葉県
永野　琢夫　東京都
中村　公一　東京都
中村　禎良　東京都
中本　逸郎　東京都
那須　雄治　東京都
棗　年紀・綾　東京都
新倉　啓介　東京都
西澤　豊　東京都
西村　敬子　京都府

西村　醇子　神奈川県
日本フィルハーモニー協会所沢支部　埼玉県
二村　英之　東京都
沼口　元彦　東京都
根本　直之　千葉県
箱崎　一彦　千葉県
橋倉　宏行　埼玉県
蓮見　正純　東京都
羽田　洋子　神奈川県
濱田　尚人　東京都
林　一郎　東京都
原　宏輔　東京都
原　俊　千葉県
針谷　博史　東京都
平井　邦子　神奈川県
平井　嘉朗　東京都
平田　邦夫　神奈川県
平田　正　神奈川県
平林　直哉　東京都
平松　恒治　東京都
広瀬　勝貞　大分県
広瀬　晴子　神奈川県
深沢　茂実　神奈川県
福井　英次　東京都
福田　昭夫　東京都
藤井　裕一　東京都
藤沢　薫　東京都
藤本由紀子　東京都
藤原　真也　東京都
古瀬　明弘　東京都
星　桂太朗　東京都
本田　博　熊本県
前田　耿史　神奈川県
前田圭一郎　千葉県
牧野　澄夫　東京都
正木　信汎　東京都
増田　文彦　神奈川県
松尾　東京都
松田　孝裕　埼玉県
松田　譲　東京都
松本　信義　東京都
三木恵美子　神奈川県
三木　繁光　東京都
峯島　茂之　東京都
宮川　輝男　千葉県
宮本　裕二　兵庫県
武藤　雄二　埼玉県

村上　純子　埼玉県
村上　洋美　東京都
村上　泰郎　東京都
持田　泰　東京都
元永　徹司　神奈川県
森　稔樹　神奈川県
森　宏之　神奈川県
森川　智之　神奈川県
八木　一郎　山梨県
矢口　敏和　千葉県
矢倉　俊紀　東京都
八代　元行　東京都
柳田　淑　神奈川県
谷野　剛　東京都
山上　典彦　東京都
山口　幸子　東京都
山口　仁栄　東京都
山口　達之　長崎県
山口みどり　東京都
山越　章弘　長野県
山下　芳広　北海道
山田　敏之　神奈川県
山田　宏己　東京都
山村　隆　東京都
山村　美絵　東京都
山本　高稔　東京都
油井　直次　東京都
横川　直　東京都
吉川　美保　東京都
吉川　隆一　東京都
吉谷恵美子　神奈川県
吉村　真幸　埼玉県
吉村　匡則　東京都
渡辺　敦郎　東京都
渡辺　和子　東京都
渡邉規久雄　東京都
渡邉　直　東京都
渡邉　裕志　山口県
渡辺　康匡　東京都
F.H.
M.K.

匿名71名

（2022年5月25日現在
50音順・敬称略）

◆ 新入団員紹介 ◆

新入団員に11の質問！

ファゴット

中川 日出鷹 NAKAGAWA Hidetaka

ファゴット・セクションに新たに入団致しました中川日出鷹をご紹介いたします。

1	誕生日	9月1日
2	私はこんな人	こわいのにこわいものを見てみたい人
3	楽器を始めたきっかけ	中学の吹奏楽部
4	音楽家になっていなかったら？	画家 兼 妖怪研究家
5	時間があったら何をしたい？	ゆったりした時間の中で絵や文や作曲や料理など何かを作ることがしたいです
6	リラックス方法は？	お酒を嗜みながらプロジェクターで映画鑑賞
7	好きな映画を教えてください	たくさんありすぎて選べないです
8	座右の銘があれば	「目に見えない世界を信じる。」水木しげる
9	日本フィルに入団が決まった瞬間の気持ちを一言で	新たなスタート地点に立てることに感謝しております身の引き締まる思いです
10	ずばり、今のところ日本フィルはこんなオケだと思う	人との繋がりを大切にするオーケストラ 自身もたくさんの成長の機会を頂いております

11 最後にお客様へのメッセージをお願いいたします

いつも日本フィルハーモニー交響楽団の演奏を聴いていただき、
そして応援していただきありがとうございます。
たくさんのお客様に楽しんでいただけるように日々精進いたします。
これからもよろしくお願いします。

Member's TVU CHANNEL CLASSICAL MUSIC

クラシカルミュージック

https://members.tvuch.com

Member's TVU CHANNELは、クラシック音楽のコンサートの臨場感をいつでもどこでもお楽しみいただけるインターネット・サイトです。コンサートホールからのライブ配信、さらにコンサートが終わったあともアーカイブ映像としていつでも視聴可能です。日本フィルの配信は1,000円で3ヵ月間何度でもご視聴いただけます（販売期間は6ヶ月です）。

まずはID登録！ メールアドレスとパスワードのみで簡単！

NEW! 定期会員継続・新規入会で7月東京定期の配信プレゼント！
6月20日までに「配信プレゼント」のお申し込みが必要です。

詳しくはこちら▶

12月19日	第九特別演奏会	指揮：角田 鋼亮	6/18（土）まで！
12月23日	第九特別演奏会	指揮：小林 研一郎［桂冠名誉指揮者］	6/22（水）まで！
1月16日	東京定期演奏会	指揮：阪 哲朗	アーカイブ配信
1月23日	名曲コンサート	指揮：下野 竜也	アーカイブ配信
3月4日	東京定期演奏会	指揮：広上 淳一［フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）］	アーカイブ配信
3月11日	さいたま定期演奏会	指揮：鈴木 優人	アーカイブ配信
4月1日	東京定期演奏会	指揮：小林 研一郎［桂冠名誉指揮者］	アーカイブ配信
4月17日	名曲コンサート	指揮：ピエタリ・インキネン［首席指揮者］	アーカイブ配信
4月23日	横浜定期演奏会	指揮：ピエタリ・インキネン［首席指揮者］	アーカイブ配信
5月14日	横浜定期演奏会	指揮：カーチュン・ウォン［首席客演指揮者］	アーカイブ配信
5月28日	東京定期演奏会	指揮：カーチュン・ウォン［首席客演指揮者］	アーカイブ配信
6月18日	東京定期演奏会	指揮：秋山 和慶	ライブ＆アーカイブ配信

NEXT CONCERTS
>> 次回東京定期演奏会

第742回

サントリーホール

2022年7月8日(金)19:00開演
9日(土)14:00開演　(「本日の聴きどころ(プレトーク)」13:30〜)

広上とのブルックナー・プロジェクト第2弾。美しく荘厳なサウンドが全編を彩る第7番

1回券料金	S ¥8,000　A ¥6,500　B ¥6,000　C 完売　P ¥4,000　Ys (25歳以下) ¥1,500

※障害者手帳をお持ちの方は割引きがございますので、サービスセンターにお問い合わせください。

7月 第379回横浜定期演奏会

2022年7月2日(土) 17:00開演　神奈川県民ホール

指揮:広上 淳一[フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)]　ピアノ:福間 洸太朗

ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第4番　ベートーヴェン:交響曲第6番《田園》

S ¥8,000　A ¥6,500　B ¥6,000　C ¥5,000　P ¥4,000　Ys (25歳以下) ¥1,500

好評発売中

次回東京定期演奏会指揮者にインタビュー!

聞き手　高坂 はる香

—東京定期演奏会では、昨年夏にスタートしたブルックナー・プロジェクトの第2弾として交響曲第7番を演奏されます。改めてブルックナーに取り組まれるようになったのは、どんな想いからですか?

これまでほとんどやってきませんでしたが、残りの人生で、そろそろブルックナー先生の世界を味わってみたいと思うようになりました。これまでに1番、4番、6番、それからこの前初めて8番を演奏し、今度は7番です。

なかなかできなかったんですよ、やっぱりこわくて。ブルックナーには特に詳しいファンも多いですし、作曲家自身も知らなかったことまで勉強しているような愛好家もいらっしゃいますから。

—ブルックナーの交響曲を一つずつ演奏していくことには、指揮者のロマンのようなものがあるのでしょうか?

いや、私にはあまりそういう想いはないんです。彼のシンフォニーは、生前はそこまで評価されていませんでしたが、マーラー先生が指揮者として取り上げていましたね。

純器楽曲としては長い作品で、お客様がその長い船旅に飽きないよう演奏しなくてはいけません。日本では、ブルックナーの演奏会では女性の聴衆が少なく、男性トイレに列ができるなどといわれますが、今回は、女性にもブルックナー・ファンになっていただけるような演奏をしたいと思います。もちろん、同時に男性のファンにも受け入れていただける演奏を目指します。

—日本ではなぜ男性に人気なのか、広上さんのご見解はありますか?

女性からすると、美しいけれど長くてしつこいと思うのかもしれませんね。それに対して、男性はその長さにロマンや哲学を感じるのかも。私はもう少し違うアプローチで、女性にも受けるブルックナーにしたいと思います(笑)。

—あわせて演奏されるのは、米元響子さんをソリストに迎えるブルッフの「スコットランド幻想曲」です。

私は響子が19歳の頃からよく知っているんです。彼女が教授をつとめるオランダ・マーストリヒト音楽院の同僚でもあるボリス・ベルキン教授が、"響子のスコットランドは、聴いたら泣くぞ"というので、以前、名古屋で京都市交響楽団と共演したことがあります。実際、その演奏は本当にすばらしかった。あれからまた円熟味が増しているはずですから、東京のお客様にもぜひ聴いてほしいと思いました。

—一方、横浜定期演奏会(7月2日神奈川県民ホール)では、ベートーヴェンの「田園」とピアノ協奏曲第4番が演奏されます。今の時代にベートーヴェンを届けることに、何をお感じになりますか?

意図していたわけではありませんが、どちらもどこか祈りのようなものを感じる、静かで渋い作品ですね。「田園」は指揮者からするととても難しいので、できれば避けたいくらいなのですが(笑)、それでもやはり何度も取り上げてきた作品です。今64歳。歳を重ねたオヤジの、諦観した「田園」を聴いていただこうかなと思います。

—諦観ですか……?　いつもエネルギッシュでいらっしゃるように見えますが。

いやもう、諦観の極地ですよ、いろいろな意味で。動きも鈍くなってきていると思いますが、逆に、私が力まないぶんオーケストラも力まなくなって、いい音がするようになったと思います。

やはり脱力って大事なんですよね。でもそれは、力を入れて何十年も突っ走ってきたからこそできる脱力で、最初からずっと脱力しているだけでは、こんにゃくのようでうまくいかないのです。

—ピアノ協奏曲第4番では福間洸太朗さんがソリストとして出演されます。

福間さんとは初めて共演しますが、楽しみですね。今、こうして若く人気と実力のあるピアニストがたくさん出てきて、素晴らしい時代になったと思います。

この協奏曲には優しさ、愛情、そして闇と光のようなものが感じられます。5つのピアノ協奏曲の中でもっとも詩的です。月光ソナタに通じるものも感じます。

ベートーヴェン先生はこの時期、かつての父親の虐待の記憶と決別しようと、自分のロマンティックな感覚は傍に置いて、構造と分析を重視して作品を書くことを実験的に行なっていました。一つの素材をどこまで広げていけるか、分子単位まで分解してから重ねていくという曲の作り方をしています。いわゆる《傑作の森》の時代は、父との訣別の時期でもあったということです。それを越えたら、今度はどんどん構造がなくなるほうに変わっていき、ロマン派への架け橋をつくったわけです。エネルギーのある、本当にすごい人でしたね。

全文はこちら▶
https://japanphil.or.jp/orchestra/news/25110

助成:　文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人 日本芸術文化振興会

● カーチュン・ウォン 日本フィル次期首席指揮者就任決定（2023年9月～）

日本フィルハーモニー交響楽団は、2023年9月よりカーチュン・ウォン（現首席客演指揮者）を首席指揮者に迎えます。任期は5年を予定。モダニストでありながら、古き良き伝統を受け継ぐ新首席指揮者カーチュン・ウォンと日本フィルの今後に、どうぞご期待ください。記者会見レポートはP12-14をご覧ください。

● 定年のお知らせ

総務部の柏熊由紀子が2022年5月14日で定年を迎えました。今後も引き続き嘱託として業務を担当いたします。

● 退団のお知らせ

ヴィオラ首席奏者のデイヴィッド・メイソンは2022年5月31日付で退団いたしました。2020年1月入団、21年3月より首席奏者として活躍してまいりました。今後のご活躍をお祈り申し上げます。

● テレビ番組レギュラー出演のお知らせ

日本フィルがBSに。指揮者が語るミニ番組!『Welcomeクラシック』BS朝日 毎週水曜日22:54～23:00（第3週、第4週は再放送）。登場するのは首席指揮者ピエタリ・インキネン＆正指揮者山田和樹。ぜひご覧ください!

❖ プレトーク「本日の聴きどころ」

東京定期演奏会の土曜日は、毎回これから始まるコンサートの聴きどころや楽曲解説、アーティストの素顔等を紹介いたします。今回は岩野裕一氏の登場です。
土曜日13:30～

● もうすぐ発売

2022年6月23日（木）発売

第397回名曲コンサート

2022年9月11日（日）15:00開演
サントリーホール

指揮：大井 剛史
ソプラノ：澤江 衣里　メゾソプラノ：小川 明子
テノール：櫻田 亮　バス：加藤 宏隆
チェンバロ、オルガン：辰巳 美納子
合唱：日本フィルハーモニー協会合唱団

ヘンデル：オラトリオ《メサイア》

S¥7,000 A¥5,500 B¥5,000 C¥4,000
P合唱団 Gs¥4,000 Ys¥1,500

2022年7月1日（金）発売

第239回芸劇シリーズ

2022年10月2日（日）14:00開演
東京芸術劇場

指揮：藤岡 幸夫　ピアノ：上原 彩子

ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番
ベートーヴェン：交響曲第7番

S¥7,000 A¥5,500 B¥5,000 C¥4,000
Gs¥4,000 Ys¥1,500

2022年7月1日（金）発売

第398回名曲コンサート

2022年10月16日（日）14:00開演
サントリーホール

指揮：小林 研一郎［桂冠名誉指揮者］
ヴァイオリン：千住 真理子　オルガン：大平 健介

J.S.バッハ：トッカータとフーガ ニ短調 BWV565
サラサーテ：ツィゴイネルワイゼン
ベートーヴェン：交響曲第5番《運命》他

S¥7,000 A¥5,500 B¥5,000 C¥4,000
P¥3,000 Gs¥4,000 Ys¥1,500

定期会員券ご寄付のお願い

お客様のご都合により、定期演奏会にご来場いただけなくなった時は、是非日本フィルにチケットをご寄付ください。有効に活用させていただきます。

5月の東京定期演奏会の定期会員券をお譲りいただきました。心より御礼申し上げます。
（50音順・敬称略）匿名6名

ご寄付の方法　ご寄付いただける会員券の公演日・座席数・座席番号を日本フィル・サービスセンターにお電話かFAX、メールにてご連絡の上、会員券をご郵送ください。主催会場でも受け付けます。

※公演 1 週間前のご寄付に関しては、会員券のご郵送は不要です。※会員券のご郵送代はお客様にてご負担いただきます様ご協力をお願い致します。※ご寄付いただいた定期会員のお客様には、ご寄付いただきました公演月のプログラム冊子を後日ご郵送致します。また、翌月または翌々月のプログラムにご芳名を掲載させていただきますので、掲載をご希望されないお客様はご連絡をお願い致します。

日本フィル・サービスセンター　〒166-0011 東京都杉並区梅里 1-6-1
TEL：03-5378-5911（平日11 時～17 時）　FAX：03-5378-6161（24時間）　E-mail：order-ticket@japanphil.or.jp

人、音楽、自然――日本フィルのテーマです。
JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

楽団創立 1956 年 6 月

創立指揮者	渡邉 曉雄	首席指揮者	ピエタリ・インキネン
桂冠名誉指揮者	小林 研一郎	桂冠指揮者 兼 芸術顧問	アレクサンドル・ラザレフ
名誉指揮者	ルカーチ・エルヴィン	フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）	広上 淳一
名誉指揮者	ジェームズ・ロッホラン	正指揮者	山田 和樹
客員首席指揮者	ネーメ・ヤルヴィ	首席客演指揮者	カーチュン・ウォン

ソロ・コンサートマスター：木野　雅之
ソロ・コンサートマスター：扇谷　泰朋
コンサートマスター：田野倉雅秋
アシスタント・コンサートマスター：千葉　清加
第1ヴァイオリン：太田　麻衣　九鬼　明子　齋藤　政和　榊　渚　佐藤駿一郎　田村　昭博　中谷　郁子　西村　優子　平井　幸子　本田　純一　町田　匡
第2ヴァイオリン：遠藤　直子　大貫　聖子　岡田　紗弓　加藤　祐一　神尾あずさ○　川口　貴　末廣　紗弓　竹歳　夏鈴　谷﨑　大起□　豊田　早織　山田　千秋
ヴィオラ：安達　真理☆　小俣　由佳　小中澤基道　児仁井かおり　高橋　智史　中川裕美子　中溝とも子　松澤　稚奈
ソロ・チェロ：菊地　知也
チェロ：石崎　美雨　伊堂寺　聡　江原　望　大澤　哲弥　久保　公人　山田　智樹　横山　桂
コントラバス：菅原　光　鈴村　優介　髙山　智仁◎　成澤　美紀　宮坂　典幸○　山口　雅之
フルート：齋藤　光晴　難波　薫　真鍋　恵子◎
オーボエ：佐竹　真登　杉原由希子◎　松岡　裕雅○
クラリネット：伊藤　寛隆◎　楠木　慶○　照沼　夢輝　堂面　宏起
ファゴット：大内　秀介　鈴木　一志◎　田吉佑久子○　中川日出鷹
ホルン：伊藤　舜□　宇田　紀夫　信末　碩才◎　原川翔太郎　丸山　勉☆　村中　美菜
ソロ・トランペット：オッタビアーノ・クリストーフォリ
トランペット：大西　敏幸□　中里　州宏　中務　朋子　星野　究
トロンボーン：伊藤　雄太　伊波　睦　岸良　開城○
バス・トロンボーン：中根　幹太
テューバ：柳生　和大
ティンパニ：エリック・パケラ◎
パーカッション：大河原　渉
ハープ：松井　久子

楽団長：中根　幹太
チーフステージマネージャー：阿部　紋子
チーフインスペクター：佐藤駿一郎
インスペクター：宇田　紀夫　鈴村　優介
ライブラリアン：鬼頭さやか　杉本　哲也

◎首席奏者　○副首席奏者　☆客演首席奏者　□試用期間

理事長（代表理事）：平井　俊邦
副理事長（代表理事）：五味　康昌
常務理事（代表理事）：後藤　朋俊
常務理事（代表理事）：中根　幹太
常務理事（代表理事）：福井　英次
理事：石井啓一郎／遠藤　滋　佐々木経世／田村　浩章　戸所　邦弘／福本ともみ
評議員会会長：加藤　丈夫
評議員：青井　浩／荒蒔康一郎　石塚　邦雄／石村　等　稲垣　尚／内川　清雄　大塚　宣夫／海堀　周造　梶浦　卓一／河北　博文　喜多　崇介／木村　惠司　久保田　隆／小林研一郎　島田　精一／髙橋　和夫　津田　義久／野間　省伸　葉田　順治／村上典吏子　山口多賀幸
監事：上條　貞夫
名誉顧問：熊谷　直彦
名誉顧問：島田　晴雄
名誉顧問：田邊　稔
アドバイザリー・ボード：大島　剛／小野　敏夫　小網　忠明／後藤　茂　武田　隆男／田邊　稔　堀越　作治／溝口　文雄
コミュニケーション・ディレクター：マイケル・スペンサー
マネジメント・スタッフ：磯部　一史／江原　陽子　及川ひろか／小川紗智子　萩島　里帆／賀澤　美和　柏熊由紀子／小須田　萌　佐々木文雄／澤田　智夫　篠崎めぐみ／清水佑香子　杉山　綾子／杉山まどか　高橋　勇人／田中　正彦　槌谷　祐子／中村沙緒里　西田　大輔／長谷川珠子　馬場　桃子／藤田　千明　別府　一樹／益滿　行裕　宗澤　晶子／山岸　淳子　吉岡　浩子

団友：
青柳　哲夫／青山　均／赤堀　泰江　浅井　俊雄／淺見　浩司／新井　豊治　石井啓一郎／伊藤　恒男／江藤　瓔子　遠藤　功／遠藤　剛史／大石　修　大川内　弘／大味　修／筧　美知子　金本　順子／蒲谷　隆行／川口　和宏　菊田　秋一／吉川　利幸／木村　正伸　小林　俊夫／小山　清／斎藤　千種　佐々木裕司／佐藤　玲子／髙木　裕子　髙木　雄司／高木　洋／高倉　理実　田沢　烈／立川　和男／堂阪　俊子　富樫　尚代／豊田　尚生／中川　二朗　永田　健一／中務　幸彦／奈切　敏郎　橋本　洋／畑井紀代子／平賀　法子　福島　喜裕／松本　克巳／松本　伸二　三谷　昭平／三本　克郎／宮武　良平　三好　明子／森　茂／山下　進三　山科　淑子／山本　辰夫／渡辺　哲雄

（2022年6月1日現在）

チケットお申込・お問い合せ

[日本フィル・サービスセンター]
TEL.03-5378-5911(通常：平日10時～17時／現在：平日11時～17時) ※状況によっては営業時間が変更になる場合がございます。予めご了承ください。
FAX.03-5378-6161(24時間)
E-MAIL：order-ticket@japanphil.or.jp

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団
〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1　TEL.03-5378-6311
japanphil.or.jp

公式Twitter
@Japanphil

公式アカウント

BS朝日 5
「Welcome クラシック」インキネン & ヤマカズが語るミニ番組
毎週水曜日 22:54～23:00 放送中!!